

“あったらいい”じゃなくて、
“無いとホントに困る”
施設を残さんと。

お金に余裕がなくなるのは
分かつてる。
真剣に考えないけんで。

次世代のことを
イマ、考える!

第2弾

どうなる? どうする? 私のまちの公共施設

もっと知ろう!
将来を語るう!

次世代にツケを
回すような市に若い人が
集まるわけがないが。

大事なことだけえ、
みんながもっと知らんと!

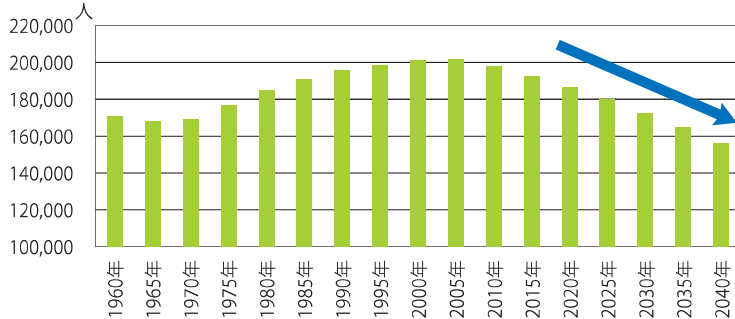
～『これからの公共施設のあり方』とは?～



『公共施設の更新問題』とは？“なぜ”鳥取市は『新しい公共施設のあり方』を検討しているのでしょうか

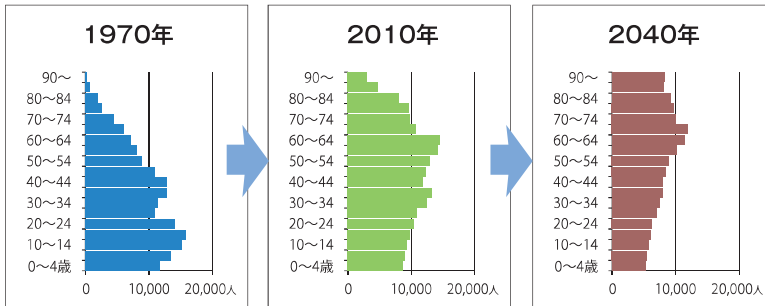
ポイント1 日本各地で人口が減り、少子高齢化が進んでいきます。

《鳥取市の人口の推移と推測値》



・何の対策も講じない場合、今後、30年間で4.1万人の減少が予想されています。
(日本全体では2,100万人以上の減)

※国立社会保障・人口問題研究所推計



・少子高齢化の傾向であり20～64歳の人口は、今後30年間で3.8万人の減少が予想されます。
・20～64歳と65歳以上との人口比率は、現在の5：2から4：3となります。

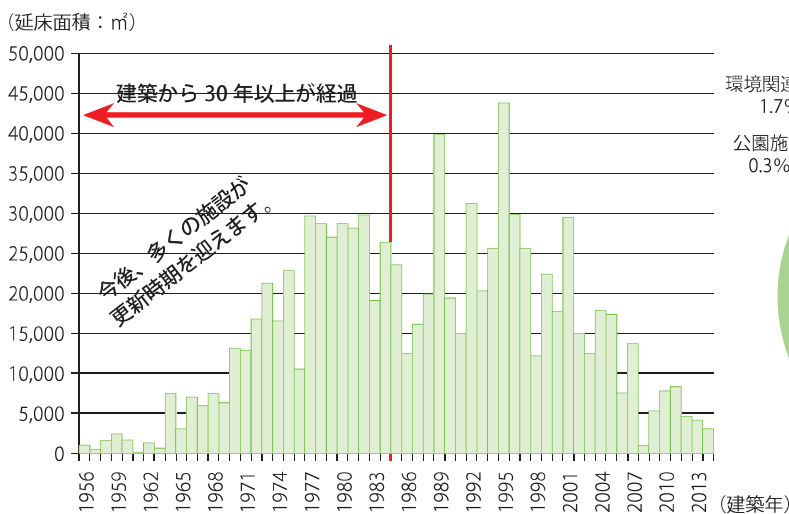
※国立社会保障・人口問題研究所推計



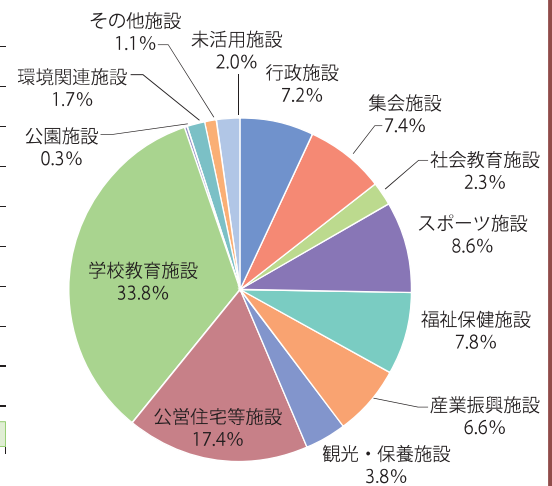
○生産年齢人口の減少は、税収にマイナスの影響を与えます。
○一方、少子高齢化がさらに進行すると社会保障に必要な費用が増加します。

ポイント2 公共施設（建物）も高齢化が進んでいます

《鳥取市が保有する公共施設の築年別整備状況》



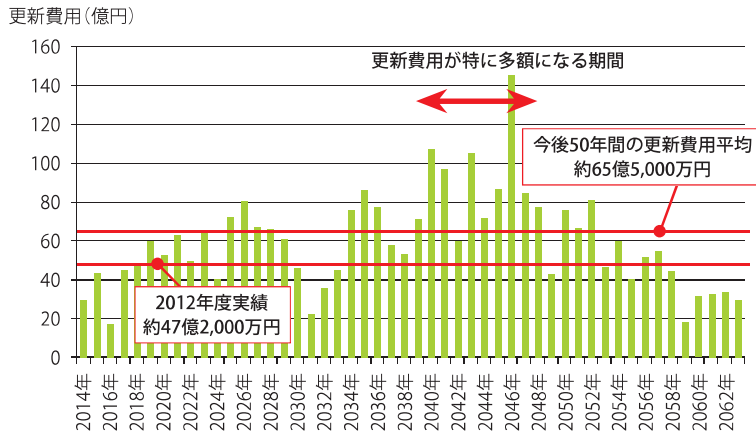
《公共施設の内訳》(延床面積割合)



○市が保有する施設数は1,001、総延床面積は約90.2万㎡あります。市民1人あたりにすると約4.65㎡と類似自治体より多くの公共施設を保有しています。
○今後、多くの施設が更新（建替・改修）時期を迎えます。

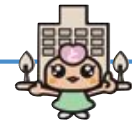
ポイント3 公共施設の更新に多額の費用がかかる時代に突入します

《今後50年間に発生する更新（建替・改修）費用の見込み》



※グラフの更新費用は、今後新たに発生していく建て替え等の費用のみ。光熱水費等は含まれません。

- ・2012年度、公共施設（建物）の更新費用の実績は、約47億2,000万円でした。
- ・現在の公共施設を、現在の規模・仕様のまま維持すると仮定した場合、必要な更新費用は、今後50年間で約3,274億円、年平均約65億5,000万円、現状予算の約1.4倍と試算されます。



- 今後、更新費用が増加していきます。
- 20～40年後に特に多額の更新費用が必要となります。

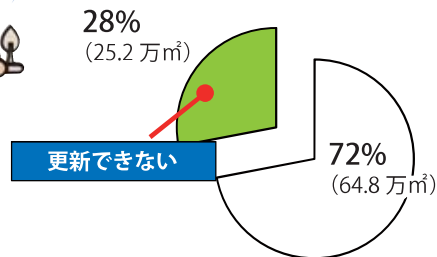


教育や福祉など様々な公共サービスを維持する費用の確保が必要な中、今後も全ての公共施設を保有し続けるには、大きな課題があります。

- ①老朽化する公共施設の増加に合わせ、更新費用が多額に必要となります。
- ②人口が減少するため1人あたりの負担が増加します。

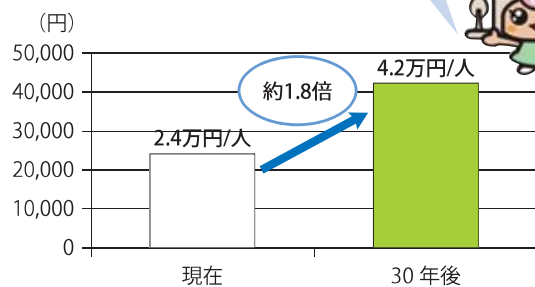
《現在の予算規模（更新費）を維持した場合》

28%の施設が更新できません。
(延床面積割合)



《全ての施設を維持した場合》

市民1人当たりの負担が年間1.8万円増加する計算になります。



これが、全国の自治体で共通の課題である『公共施設の更新問題』です！

鳥取市は、この課題に中長期的な視点で総合的に対応するため、『公共施設の経営基本方針』の策定にむけて取り組んでいます。

どうなる？私たちの公共施設

～第2話 イナバース、知恵を絞る～

【前回までのあらすじ】

鳥取市は、将来の公共施設のあり方を考える一歩として、「公共施設白書」をつくったんだ。

多くの自治体が、新しいシナリオを考え始めているんだ。

公共施設の更新問題に
対応する為の
第4のシナリオ

早期に
施設見直しを決断。
計画的な
管理・再編によつて
必要な公共サービ
スを維持。
そして無理な
借金もしない。

あなたは？

①

【今回はここから】

私は…

私は、
とつとりん。
これからの公共
施設を、一緒に
考えるために
生まれたんだ。

②

次世代に
負担を
先送り
できない
よね？

④

人口が
減ったら
税収も
減るだろうし、
施設に使える
お金も
考えないとね！

③

大丈夫。
少しでも早く
公共施設の
あり方を
工夫することで、
将来の負担も
軽くなるんだ。

⑤

でも、
具体的には
どうするの？

⑥

これから
必要な経費は
どれくらい
なの？

⑦

現在の施設全てを
維持し続けることは
「不可能」としている
自治体もあるんだよ。

⑨

そんなに!?

建替えや更新費だけで、今後
の50年で約3,274億円。
1年平均だと
約65億5,000万円。
いまより18億3,000円
増える見込みだよ。*

⑧

(※) 現在の公共施設を、現在の規模・仕様のまま維持すると仮定した場合

うーん。施設をどんどん減らしちゃえば？

減らすだけじゃ、利用者は困るよ。サービスも受けられなくなるし...

必要があつて造られたんだから、よく考えないとね。

11

どうすればいいか、考えてみようよ！

10

みんなが集まって魅力アップ！複合化という手法だね。

学校 集会施設

集会施設 保育園 保健施設

それなら...

いいかも！必要なサービスは残るし、維持費は下がるよ。

施設をまとめてみたら？

12

民間への貸出や売却も考えられるね。

14

そっか。貸したり、売ったりしていいのかわ!!

施設に使えるお金を稼げるかも。

15

使わなくなった施設や部屋をもっと使おうよ！

いいね。みんなのニーズにあった使い方を考えようよ。新しい交流も生まれるよ！

保有している施設の有効活用だね。

13

建設費
運営費
光熱水費等
一般管理費
修繕費
更新費
保全費
保守・管理

建設費は
氷山の
一角かー！

建設から
取り壊すまでの
生涯経費の
大部分は、
管理運営費や
修繕費と
言われてるんだ。

17

施設にかかる
生涯経費
(ライフサイクル
コスト)を減らすの
は？

どういふこと？

16

市民や企業の
力やアイデアで
もっとできない
かな？

そうだね。
民間の建物を
借りるとか、
民間に公共サービス
をお願いするとか。
『公民連携』が
更に重要になるね。

19

計画的な修繕や
効率的な
運営をすれば、
今よりも
費用を
抑えられるよ。

僕の家でも、
電気代や
水道代を
節約してるよ。

18

みんなに
知ってもらうために
講演会や、座談会を
開いてるのか。

自分が
よく使う施設だけ
考えてても
進まないもんね。

22

できることは、
たくさん
あると
思うけど……。
まずは、
『知る』ことが
大事だと
思うな。

21

公共施設の
更新って
大変だね。

でも、イマがチャンス
なのかもね？
僕は、
何が
できる
のかな。

20

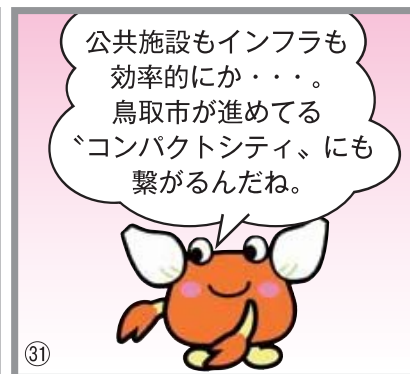
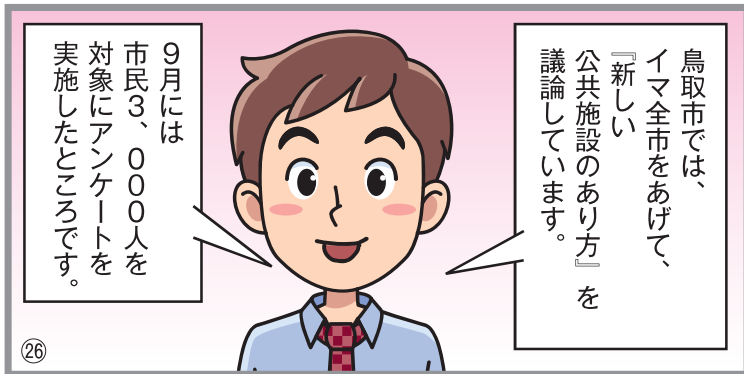
もっと詳しく
知りたいな。
市役所に行って
聞いてみようよ。

24

これが、
まさに鳥取市が
進もうとしている
道なんだ。

2人ともすごいね。
いま、話し合ったことが、
第4のシナリオなんだ。

23



現在、「公共施設のあり方」について話し合いを進めています。 皆さまのご意見をお寄せください

鳥取市では、新しい公共施設のあり方を考えていくことで、

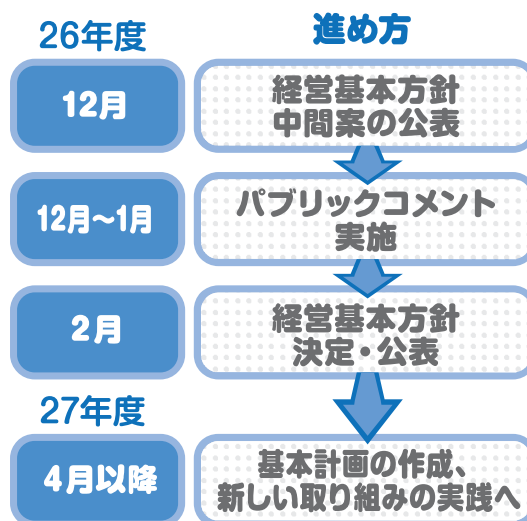
- (1) 公共サービスの維持・向上
 - (2) 安全・安心な市民生活
 - (3) 次世代の負担軽減
- を実現しようと「公共施設の経営基本方針」策定に取り組んでいます。

いまある施設を見直せば、施設の数が減ったり、利用方法などが従来と変わったりして、多少のご不便をおかけするかもしれません。

その一方、1つの施設で複数のサービスを受けられたり、民間活力でサービスの質が上がるなど、メリットを期待しています。

施設の更新（建替え）時期が近づいているということは、いまが将来を見据えて取り組むチャンスです。

次世代に課題を先送りせず、必要な施設を安全・安心に利用していただくため、みなさんと一緒に考え、進めたいと思います。



みんなで
これからの公共施設を
考えるために



「白書」や市の取り組み状況を見たい

→市庁舎・各総合支所の窓口や各地区公民館で閲覧いただけます。
または、市公式ウェブサイトをご利用ください。
(白書の全編は、市公式ウェブサイトのみ掲載)

説明を聞きたい

→市役所の担当者が出前座談会でご説明します。
年に数回公開講演会を企画しています。

意見を言いたい

→電話、FAX、E-mail などいつでも受け付けています。
現在策定中の「鳥取市公共施設の経営基本方針」について、パブリックコメントを募集する予定です。みなさまのご意見をお待ちしています。

～出前座談会を開催しています～

公共施設について市民の皆さまと一緒に考える一つの手段として開催しています。
お気軽にお申し込みください。

申し込み方法（留意事項）

対象：市内在住・在勤・在学のグループ
(5人以上)

会場：鳥取市内（申込者の負担）

時間：午前9時から午後8時までの間（1時間程度）

詳細はお問合せください。

鳥取市役所財産経営課

電話：0857-20-3852 FAX：0857-20-3879

E-mail：zaisankanri@city.tottori.lg.jp

これまでの出前座談会でいただいたご意見(抜粋)

- ・公共サービスについては、ハコ（建物）がないとできないというものではない。
- ・公共サービスをこうできないか？という施設の利活用に関する提案窓口が市にあってもよいのではないか。
- ・機能を集中することは、良いことであるとは限らないのでは？分散していた方が、市民としてはいいこともあるのではないか。
- ・「新築は極力しない」「改修して長く保有していく」などの市の考えを統一的にするべき。
- ・「どこで市民の意見を吸収していくか」を考えるのが大事ではないか。
- ・特に鳥取市のように広域合併した自治体では、まずは要らない施設を減らしていかなければいけない。それはどの施設なのかを把握することが必要。
- ・長期的な施設の生涯経費（ライフサイクルコスト）のことも考えていく必要がある。

鳥取市 公共施設

検索